



最新世代型 testo 環境プローブ (Bluetooth®ハンドル付属)

取扱説明書



目次

1	安全と廃棄について	3
2	システムについて	4
3	装置について	6
3.1	testo 440 プローブヘッド接続用 Bluetooth®ハンドル (0554 1111)	6
3.2	Bluetooth®対応 熱線式プローブ (温湿度センサ搭載) (0635 1571).....	8
3.3	Bluetooth®対応 ベーン式プローブ (Ø 16 mm、温度センサ搭載) (0635 9571).....	10
3.4	Bluetooth®対応 高精度ベーン式プローブ (Ø 100 mm、温度センサ搭載) (0635 9371)	12
3.5	Bluetooth®対応 ベーン式プローブ (Ø 100 mm、温度センサ搭載) (0635 9431).....	14
3.6	Bluetooth®対応 高精度温湿度プローブ (0636 9771)	16
3.7	Bluetooth®対応 温湿度プローブ (0636 9731).....	17
3.8	Bluetooth®対応 CO ₂ プローブ (温湿度センサ搭載) (0632 1551).....	18
3.9	Bluetooth®対応 COプローブ (0632 1271)	20
4	初期操作	21
5	メンテナンス	22
5.1	プローブのメンテナンス.....	22
5.1.1	装置のお手入れ.....	22
5.1.2	校正	23
6	Q&A	23
7	テクニカルデータ	24
8	アクセサリとスペアパーツ	32
9	各種認証	33

1 安全と廃棄について

本書について

- 取扱説明書は装置の一部です。
- 初めにこの取扱説明書をよくお読みになり、使用する前に製品の扱いについてご理解ください。
- また、怪我や製品の破損を防ぐためにも、安全に関する注意と警告の内容は特に厳守してください。
- 本書は常に手の届く場所に保管し、いつでも読めるようにしておいてください。
- この取扱説明書は、必ず不備の無い、オリジナルのものを使用してください。
- 製品を別の利用者が使う場合は、この取扱説明書も必ず渡してください。

安全に使用していただくために

- 本機は用途や規定を守ってご使用ください。また、技術仕様が定める数値の範囲内でお使いください。装置に無理な力を加えないでください。
- 測定対象や測定現場によっては危険を伴う場合があります。使用する場所の安全規則を必ず守って測定を行ってください。
- 絶縁していない通電部品に接触させる測定は避けてください。
- 本機を溶剤と一緒に保管しないでください。乾燥剤は使用できません。
- 取扱説明書に記載されていないメンテナンスや修理を、本機に行わないでください。また、作業の際には定められた手順を必ず守ってください。Testo 純正品以外の部品は使用できません。
- センサー/プローブの温度表示は、あくまでセンサーの測定範囲内での使用に限られます。高温に対応できる旨が明記されている場合を除き、ハンドルとケーブルを 50 °C (122 °F) 以上の場所におかないでください。
- 装置や配線に損傷が見つかった場合は、使用を中止してください。

バッテリーについて

- バッテリーの取り扱いを誤ると壊れる恐れがあるほか、感電による怪我や火災、液体薬品の漏えいにつながる危険があります。
- 同梱のバッテリーは取扱説明書の指示に必ず従って使用してください。
- バッテリーのショート、分解、改造はお止めください。
- バッテリーに強い衝撃を与えること、水や火の中に入れること、温度が +140 °C以上 / -20 °C以下になる場所に置くことはお止めください。
- 金属の近くに未使用のバッテリーを保管しないでください。
- 密閉されていない、または破損したバッテリーは使用できません。
- バッテリー液が体に付着した場合は、液が触れた箇所を水で丁寧に洗ったのち、医師の診察を受けてください。

廃棄について

- 故障したバッテリーや空になったバッテリーは、ご使用地域の規則にならって処分してください。
- 本機を処分する際は、電子機器のリサイクルを心がけてください（ご使用地域の法令に従ってください）。もしくは、廃棄する製品をTestoまでご返送ください。

2 システムについて

作業にはBluetooth®対応プローブを使用します。各種プローブはハンドル、プローブヘッドを始め、必要に応じて専用アクセサリも使います。

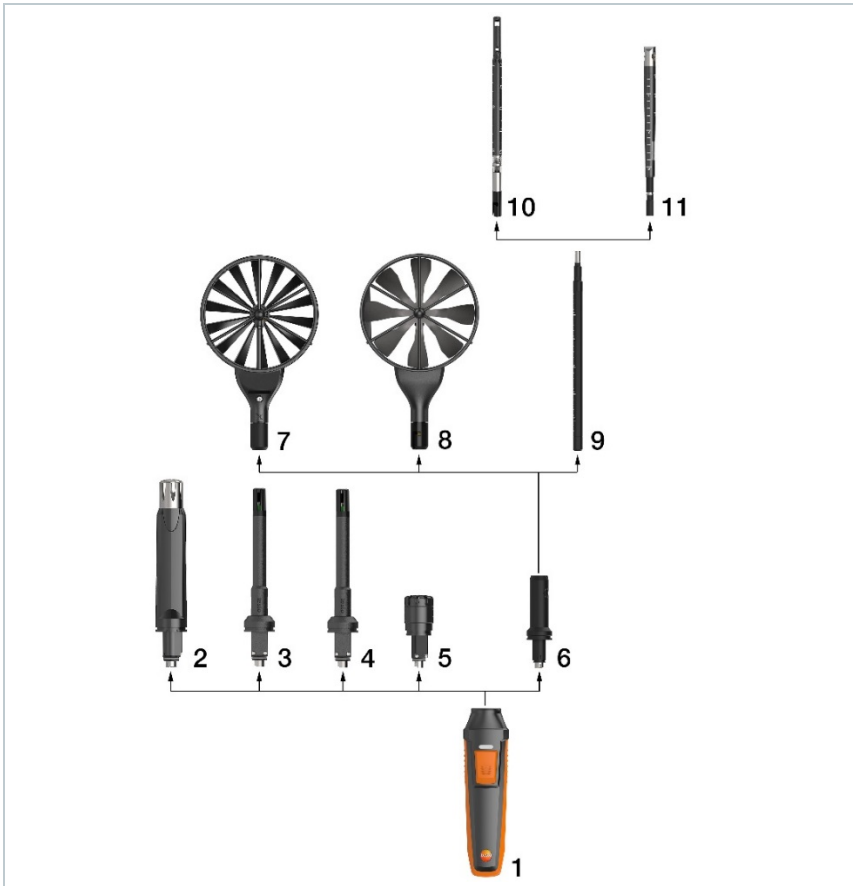
ハンドルは全てのプローブヘッドならびにシステムのアタッチメントにつながられます。大まかなシステムの内容と組み合わせは下図を参考にしてください

。



testo 440 測定器と組み合わせるプローブの詳しい説明については、各製品の取扱説明書でご確認ください。

システム概要



1	testo 440 プローブヘッド接続用 Bluetooth®ハンドル (製品番号 0554 1111)	2	CO ₂ プロブヘッド(温湿度センサ搭載) (製品番号 0632 1550)
3	高精度温湿度プローブヘッド (製品番号 0636 9770)	4	温湿度プローブヘッド (製品番号 0636 9730)
5	COプローブヘッド (製品番号 0632 1270)	6	testo 440 風速計接続用ハンドルアダプター (製品番号 0554 2160)

3 装置について

7	100 mmベーン式プローブヘッド (製品番号 0635 9430)	8	高精度100 mmベーン式プローブ ヘッド (温度センサ搭載) (製品番 号 0635 9370)
9	90°アングル付き testo 440 風速 計用 伸縮式ロッド (製品番号 0554 0960)	10	熱線式プローブヘッド (温湿度セ ンサー搭載) (製品番号 0635 1570)
11	16 mmベーン式プローブヘッド (温度センサ搭載) (製品番号 0635 9570)		

3 装置について

3.1 testo 440 プローブヘッド接続用 Bluetooth®ハンドル (0554 1111)

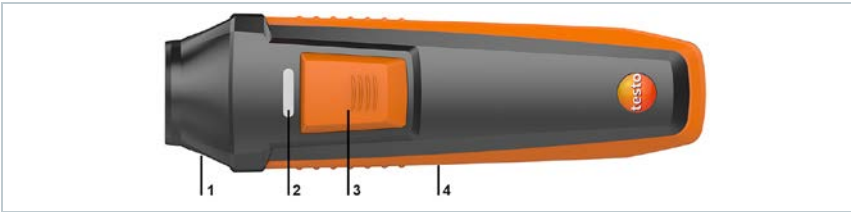
使用方法

Bluetooth®機能搭載ハンドルは、プローブヘッドを付けた testo 440 測定器とワイヤレスで接続して使用します。



測定手順は、測定器の取扱説明書に記載されている内容に従ってください(参照先: www.testo.com)。

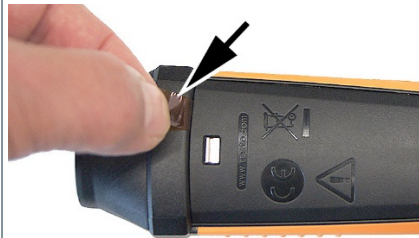
ハンドル各部



1	プローブヘッドとアダプターのクイックロック	2	ステータス表示LED
3	ボタン	4	バッテリーケース (裏側)

バッテリー絶縁テープの取り外し

- 1 バッテリーケースから絶縁テープを引き抜きます。

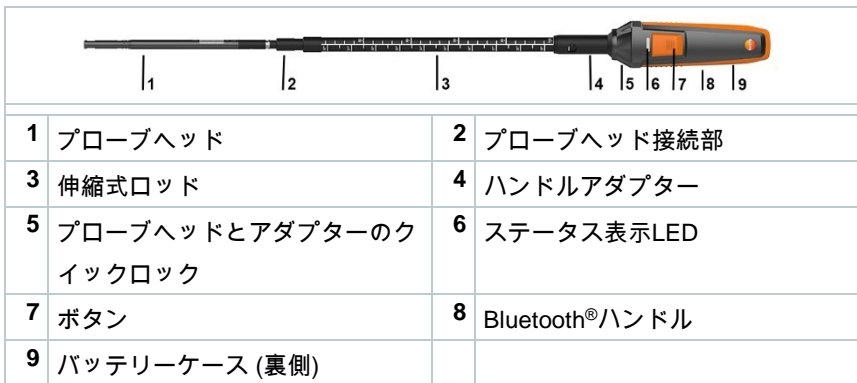


3.2 Bluetooth®対応 熱線式プローブ (温湿度センサ搭載) (0635 1571)

使用方法

testo 440 と接続した熱線式プローブは、エアダクト内の風速や湿度の計測に適しています。

各部の名称



注意

センサ先端の破損に注意！

- センサには触れないでください
- 測定後はスリーブを付けてください。



気流の速度が出ていないと、十分な温湿度の測定結果が得られない場合があります。プローブのスイッチを入れる時は、ダクトの外で以下の条件で実行してください。

周辺温度：20 °C

気流: 約0 m/s

熱線式プローブとハンドルの接続

- 1 ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。



- 2 ハンドルのアダプターをハンドルにセットします (差し込む向きに注意)。



- 3 クイックロックを90°回し、カチッと鳴るまではめます。

- 4 伸縮式ロッドをハンドルのアダプターにセットします (溝とピンの合わせ方に注意)。



- 5 伸縮式ロッドを軽く押しながら回し、カチッとはめます。

- 6 プローブヘッドを伸縮式ロッドに差し込みます (溝とピンの合わせ方に注意)。



- 7 プローブヘッドを軽く押しながら回し、カチッとのはめます。

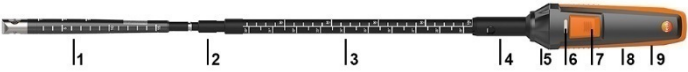
- ▶ 熱線式プローブの準備はこれで完了です。

3.3 Bluetooth®対応 ベーン式プローブ (Ø 16 mm、温度センサ搭載) (0635 9571)

使用方法

ベーン式プローブ (Ø 16 mm) は testo 440 に接続して使用し、エアダクトの風速を測るのに適しています。

各部の名称



1	プローブヘッド	2	プローブヘッド接続部
3	伸縮式ロッド	4	ハンドルアダプター
5	プローブヘッドとアダプターのクイックロック	6	ステータス表示LED
7	ボタン	8	Bluetooth®ハンドル
9	バッテリーケース (裏側)		

注意

センサ先端の破損に注意！

- センサには触れないでください
- 測定後はスリーブを付けてください。

ベーン式プローブ (Ø 16 mm) とハンドルの接続

- 1 | ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。



2 ハンドルのアダプターをハンドルにセットします (差し込む向きに注意)。



3 クイックロックを90°回し、カチッと鳴るまではめます。

4 伸縮式ロッドをハンドルのアダプターにセットします (溝とピンの合わせ方に注意)。



5 伸縮式ロッドを軽く押しながら回し、カチッと はめます。

6 プローブヘッドを伸縮式ロッドに差し込みます (溝とピンの合わせ方に注意)。



7 プローブヘッドを軽く押しながら回し、カチッと はめます。

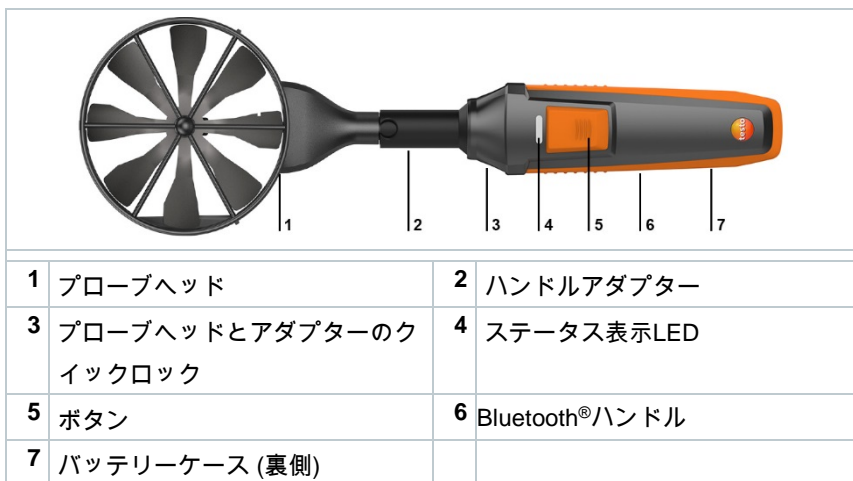
▶ ベーン式プローブ (Ø 16 mm) の準備はこれで完了です。

3.4 Bluetooth®対応 高精度ベーン式プローブ (Ø 100 mm、温度センサ搭載) (0635 9371)

使用方法

高精度ベーン式プローブ (Ø 100 mm) は testo 440 に接続して使用し、排気口などの風速を測ります。

各部の名称



注意

センサ先端の破損に注意！

- センサには触れないでください



同梱の testovent ホルダーは testovent 417 風量測定ファンネル用です。

高精度ベーン式プローブ (Ø 100 mm) とハンドルの接続

- 1 ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。



- 2 ハンドルのアダプターをハンドルに
セットします (差し込む向きに注意)
。



- 3 クイックロックを90°回し、カチッ
と鳴るまではめます。

- 4 センサーヘッドをハンドルのアダプ
ターにセットします (溝とピンの合
わせ方に注意)。



- 5 プローブヘッドを軽く押しながら回
し、カチッとはめます。

- ▶ 高精度ベーン式プローブの準備はこれで完了です。



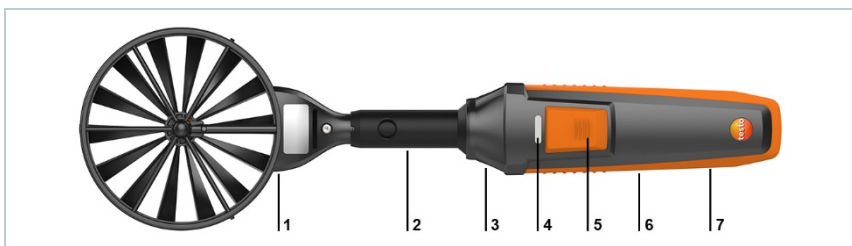
天井開口部の測定など、必要に応じて伸縮式ロッド (製品番号 0554 0960) と 90°アングル (製品番号 0554 0991) をつなげられます。

3.5 Bluetooth®対応 ペーン式プローブ (Ø 100 mm、温度センサ搭載) (0635 9431)

使用方法

ペーン式プローブ (Ø 100 mm) は testo 440 に接続して使用し、排気口などの風速を測ります。

各部の名称



1	プローブヘッド	2	ハンドルアダプター
3	プローブヘッドとアダプターのクイックロック	4	ステータス表示LED
5	ボタン	6	Bluetooth®ハンドル
7	バッテリーケース (裏側)		

注意

センサ先端の破損に注意！

- センサには触れないでください



同梱の testovent ホルダーは testovent 417 風量測定ファンネル用です。

ベーン式プローブ (Ø 100 mm) とハンドルの接続

1 ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。



2 ハンドルのアダプターをハンドルにセットします (差し込む向きに注意)。



3 クイックロックを90°回し、カチッと鳴るまではめます。

4 センサーヘッドをハンドルのアダプターにセットします (溝とピンの合わせ方に注意)。



5 プローブヘッドを軽く押しながら回し、カチッとのはめます。

▶ ベーン式プローブの準備はこれで完了です。



天井開口部の測定など、必要に応じて伸縮式ロッド (製品番号 0554 0960) と 90°アングル (製品番号 0554 0991) をつなげられます。

3.6 Bluetooth®対応 高精度温湿度プローブ (0636 9771)

使用方法

高精度温湿度プローブは testo 440 に接続して使用し、空気中の温湿度を測ります。

各部の名称



注意

センサ先端の破損に注意！

- センサには触れないでください

高精度温湿度プローブとハンドルの接続

- 1 ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。
- 2 プローブヘッドをハンドルにセットします (差し込む向きに注意)。
- 3 クイックロックを90°回し、カチッと鳴るまではめます。



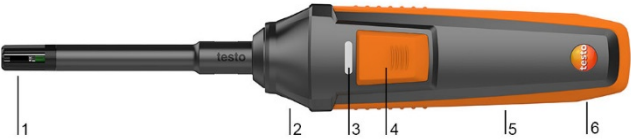
- ▶ 高精度温湿度プローブの準備はこれで完了です。

3.7 Bluetooth®対応 温湿度プローブ (0636 9731)

使用方法

温湿度プローブは testo 440 に接続して使用し、空気中の温湿度を測ります。

各部の名称



1	プローブヘッド	2	プローブヘッドとアダプターのクイックロック
3	ステータス表示LED	4	ボタン
5	Bluetooth®ハンドル	6	バッテリーケース (裏側)

注意

センサ先端の破損に注意！

- センサには触れないでください

温湿度プローブとハンドルの接続

- 1 ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。
- 2 プローブヘッドをハンドルにセットします (差し込む向きに注意)。



- 3 クイックロックを90°回し、カチッと鳴るまではめます。

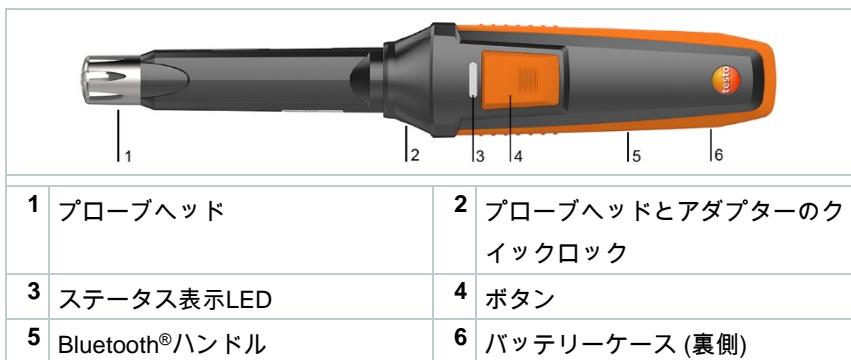
▶ 温湿度プローブの準備はこれで完了です。

3.8 Bluetooth®対応 CO₂プローブ (温湿度センサー搭載) (0632 1551)

使用方法

CO₂プローブは testo 440 に接続して使用し、CO₂濃度と温湿度を測ります。

各部の名称

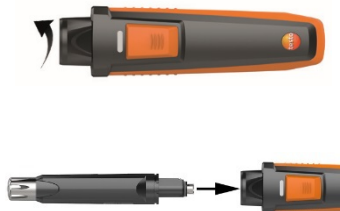


注意

- プローブには精密な光学コンポーネントを使用しています。プローブは丁寧に取り扱いってください。
- 強い振動が加わると、出荷時に行った校正を変えてしまう可能性があります。外気における二酸化炭素の測定値が350～450 ppm CO₂かどうか、チェックしてください(都市部では最大 700 ppm CO₂)。
- プローブは結露すると長期安定性に悪影響が出る恐れがありますので、ご注意ください。結露したプローブを使用すると、CO₂の測定値が高くなる場合があります。
- 周辺温度が変化(内と外など測定箇所を変更)する時は、センサー/プローブに数分の調整時間が必要になります。
- 測定器のスイッチを入れた後は、センサーを温める時間が30秒程度必要になります。
- センサー内のCO₂濃度は、環境調整に60秒程度必要です。プローブを軽く振ると、調整時間を短縮できます。
- プローブはできるだけ人体から離してください。CO₂に含まれる化学物質の吸入を避けるようにしましょう。

CO₂プローブとハンドルの接続

- 1 ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。
 - 2 プローブヘッドをハンドルにセットします(差し込む向きに注意)。
 - 3 クイックロックを90°回し、カチッと鳴るまではめます。
- ▶ CO₂プローブの準備はこれで完了です。

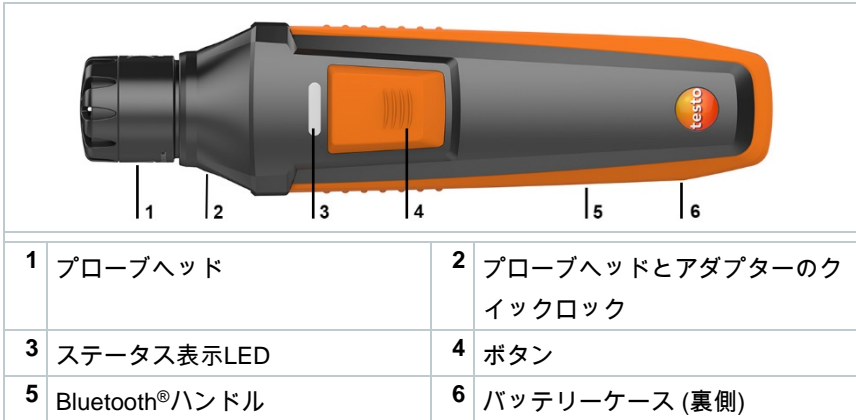


3.9 Bluetooth®対応 COプローブ (0632 1271)

使用方法

COプローブは testo 440 に接続して使用し、空気中のCO濃度を調べます。

各部の名称



⚠ 危険

死亡事故を招く恐れがあります！

一酸化炭素は無色・無臭・無味の気体です。高濃度になると生命の危険にさらされる可能性があります。

- COプローブを人体の安全を監視する装置として使用することはできません。

COプローブとハンドルの接続

- 1 | ハンドルの先にあるクイックロックを反時計回りに90°回し、ロックを外します。
- 2 | プローブヘッドをハンドルにセットします (差し込む向きに注意)。



- 3 クイックロックを90°回し、カチッと鳴るまではめます。
- ▶ COプローブの準備はこれで完了です。

4 初期操作

スイッチオン

- 1 - ハンドルのボタンを押します。
- ▶ ハンドルのスイッチがオンになります。

スイッチオフ

- 1 - ハンドルのボタンを3秒間押し続けます。
- ▶ ハンドルのスイッチがオフになります。

ステータス表示LED

ステータス表示LED	意味
赤く点滅	バッテリー不足
オレンジ色で点滅	プローブが起動し、Bluetooth®との接続を試行中。
緑で点滅	プローブが起動し、Bluetooth®との接続が完了。

5 メンテナンス

電池交換

- 1 バッテリーケースのカバーを開けます。ロックを下げてカバーを外します。
- 2 ケースから使い終わった電池を外し、新品 (単3形 × 4本) を入れます。入れる向きに注意してください。
- 3 セットしたバッテリーケースを上げてロックします。



- ▶ ハンドルが使用可能になりました。

5.1 プローブのメンテナンス

5.1.1 装置のお手入れ



強力な洗剤や溶剤は使用せず、薄めた家庭用食器洗剤やせっけん水を使用してください。



接続部は常に清潔を保ち、油や汚れをためないでください。

装置と接続部を湿らせた布で綺麗にした後は、十分に乾燥させてください。

5.1.2 校正



プローブは、基本的に工場での校正実施記録を付けて出荷されます。ただし、多くの用途では12ヶ月ごとにプローブの再校正を行うことを推奨しています。

校正作業は Testo Industrial Services (TIS)、もしくは承認を受けた事業者が提供する便利なサービスソフトウェアを使って行うことができます。

詳しい内容については、Testoまでお問い合わせください。

6 Q&A

質問	考えられる原因と対処法
ステータスLEDが赤色に点滅	バッテリーがなくなりかけています。電池を交換してください。
プローブのスイッチが勝手に切れる	バッテリー不足です。電池を交換してください。

7 テクニカルデータ



- 風速計の調整条件：
直径350 mmの自由噴流、基準圧力 1013 hPa、testo Referenz Laser Doppler Anemometer (LDA) に準じます。
- 風速計に関する注意事項：
気流の速度が出ていないと、十分な温湿度の測定結果が得られない場合があります。
- 湿度プローブに関する注意事項：
結露した環境で湿度プローブを使用しないでください。多湿環境で長時間使用するケースについて
> 80 %RH ($\leq 30\text{ }^{\circ}\text{C}$) で12時間以上
> 60 %RH ($> 30\text{ }^{\circ}\text{C}$) で12時間以上
に当てはまる場合は、Testoサービスにお問い合わせいただくか、Testoウェブサイトからご連絡ください。

testo 440 プローブヘッド接続用 Bluetooth®ハンドル (0554 1111)

特性	値
保管温度	-20 ~ +60 °C
使用温度	-5 ~ +50 °C
外形寸法	165 mm x 50 mm x 40 mm
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)

Bluetooth®対応 熱線式プローブ (温湿度センサ搭載) (0635 1571)

特性	値
測定範囲	0 ~ +50 m/s -20 ~ +70 °C 5 ~ 95 %RH 700 ~ 1100 hPa
精度 (22 °C、±1 Digit)	±(0.03 m/s + 計測値の4 %)(0 ~ 20 m/s) ±(0.5 m/s + 計測値の5 %)(20.01 ~ 30 m/s) ±0.8 °C (-20 ~ 0 °C) ±0.5 °C (0 ~ +70 °C) ±3 hPa
精度 (25 °C、±1 Digit)	±3.0 %RH (10 %RH ~ 35 %RH) ±2.0 %RH (35 %RH ~ 65 %RH) ±3.0 %RH (65 %RH ~ 90 %RH) ±5 %RH (その他の測定範囲) その他の不確実要因： - ヒステリシス：±1.0 %RH - 長期安定性：±1 %RH/年
分解能	0.01 m/s 0.1 °C 0.1 %RH 0.1 hPa
温度係数	type(k=1) ±0.06 %RH/K
保管温度	-20 ~ +60 °C
使用温度	-5 ~ +50 °C
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	21.5時間
プローブヘッド長さ	230 mm

特性	値
センサーのプロブヘッド直径	9 mm
伸縮式ロッド装着時のプロブヘッド寸法	伸長：1000 mm ハンドル先端から、伸縮式ロッドを取り付けたプロブヘッド先端までのプロブ長さ：800 mm
規則、規格、検査	EC規則：2014/30/EU

Bluetooth®対応 ペーン式プロブ (Ø 16 mm、温度センサ搭載) (0635 9571)

特性	値
測定範囲	0.6 ~ 50 m/s -10 ~ +70 °C
精度 (22 °C、±1 Digit)	±(0.2 m/s + 計測値の1 %)(0.6 ~ 40 m/s) ±(0.2 m/s + 計測値の2 %)(40.1 ~ 50 m/s) ±1.8 °C
分解能	0.1 m/s 0.1 °C
保管温度	-20 ~ +60 °C
使用温度	-5 ~ +50 °C
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	70時間
外形寸法	790 mm x 50 mm x 40 mm
プロブヘッド長さ	230 mm
プロブヘッド直径	16 mm
伸縮式ロッド装着時のプロブヘッド寸法	伸長：1000 mm ハンドル先端から、伸縮式ロッドを取り付けたプロブヘッド先端までのプロブ長さ：800 mm
規則、規格、検査	EC規則：2014/30/EU

**Bluetooth®対応 高精度ペーン式プローブ (Ø 100 mm、温度センサ搭載)
(0635 9371)**

特性	値
測定範囲	0.1 ~ 15 m/s -20 ~ +70 °C
精度 (22 °C、±1 Digit)	±(0.1 m/s + 計測値の1.5 %)(0.1 ~ 15 m/s) ± 0.5 °C
分解能	0.01 m/s 0.1 °C
保管温度	-20 ~ +60 °C
使用温度	-5 ~ +50 °C
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	60時間
外形寸法	375 mm x 105 mm x 46 mm
ペーン直径	100 mm
規則、規格、検査	EC規則 : 2014/30/EU

Bluetooth®対応 ペーン式プローブ (Ø 100 mm、温度センサ搭載) (0635 9431)

特性	値
測定範囲	0.3 ~ 35 m/s -20 ~ +70 °C
精度 (22 °C、±1 Digit)	±(0.1 m/s + 計測値の1.5 %)(0.3 ~ 20 m/s) ±(0.2 m/s + 計測値の1.5 %)(20.01 ~ 35 m/s) ± 0.5 °C ±0.5 °C (-20 ~ 0 °C)
分解能	0.01 m/s 0.1 °C
保管温度	-20 ~ +60 °C
使用温度	-5 ~ +50 °C

特性	値
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	60時間
外形寸法	375 mm x 105 mm x 46 mm
ペーン直径	100 mm
規則、規格、検査	EC規則：2014/30/EU

Bluetooth®対応 高精度温湿度プローブ (0636 9771)

特性	値
測定範囲	-20 ~ +70 °C 0 ~ 100 %RH
精度 (22 °C、±1 Digit)	±0.3 °C (15 ~ 30 °C) ±0.5 °C (その他の測定範囲)
精度 (25 °C、±1 Digit)	±(0.6 %RH + 計測値の0.7 %)(0 ~ 90 %RH) ±(1.0 %RH + 計測値の0.7 %)(90 ~ 100 %RH) その他の不確実要因： - ヒステリシス：±0.4 %RH - 長期安定性：±1 %RH/年
分解能	0.1 °C 0.01 %RH
温度係数	type(k=1) ±0.03 %RH / K
保管温度	-20 ~ +60 °C
使用温度	-5 ~ +50 °C
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	140時間
外形寸法	295 mm x 50 mm x 40 mm
プローブヘッド長さ	140 mm
プローブヘッド直径	Ø 12 mm
規則、規格、検査	EC規則：2014/30/EU

Bluetooth®対応 温湿度プローブ (0636 9731)

特性	値
測定範囲	-20 ~ +70 °C 0 ~ 100 %RH
温度の精度 (22 °C、±1 Digit)	± 0.5 °C
湿度精度 (25 °C、±1 Digit)	±2 %RH (5 ~ 90 %RH) その他の不確実要因： - 長期安定性：±1 %RH/年
分解能	0.1 °C 0.1 %RH
温度係数	type(k=1) ±0.03 %RH / K
保管温度	-20 °C ~ +60 °C
使用温度	-5 °C ~ +50°C
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	140時間
外形寸法	295 mm x 50 mm x 40 mm
プローブヘッド直径	12 mm
規則、規格、検査	EC規則：2014/30/EU

Bluetooth®対応 CO2プローブ (温湿度センサ搭載) (0632 1551)

特性	値
測定範囲	0 ~ +50 °C 5 ~ 95 %RH 0 ~ 10 000 ppm CO2 700 ~ 1100 hPa

特性	値
精度 (22 °C、±1 Digit)	± 0.5 °C ±(50 ppm + 計測値の3 %)(0 ~ 5000 ppm) ±(100 ppm + 計測値の5 %)(5001 ~ 10 000 ppm) ±3 hPa
精度 (25 °C、±1 Digit)	±3.0 %RH (10 %RH ~ 35 %RH) ±2.0 %RH (35 %RH ~ 65 %RH) ±3.0 %RH (65 %RH ~ 90 %RH) ±5 %RH (その他の範囲) その他の不確実要因： - ヒステリシス：±1 %RH - 長期安定性：±1 %RH/年
分解能	0.1 °C 0.1 %RH 1 ppm 0.1 hPa
温度係数	type(k=1) 0.06 %RH/K (0 ~ +50 °C) ±(2 ppm + 計測値の0.4 %) / K
保管温度	-20 °C ~ +60 °C
使用温度	-5 °C ~ +50 °C
Bluetooth®通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	21.5時間
外形寸法	290 mm x 50 mm x 40 mm
プローブヘッド直径	21 mm
規則、規格、検査	EC規則：2014/30/EU

Bluetooth®対応COプローブ (0632 1271)

特性	値
測定範囲	0 ~ 500 ppm
精度 (22 °C、±1 Digit)	±3 ppm (0 ~ 30 ppm) ±10 % (計測値比)(30.1 ~ 500 ppm)
分解能	0.1 ppm
保管温度	-20 ~ +50 °C / 推奨値 : -10 ~ +30 °C
使用温度	-5 ~ +50 °C
Bluetooth® 通信範囲	20 m (障害のない場所)
バッテリー寿命	70時間
外形寸法	195 mm x 50 mm x 40 mm
プローブヘッド直径	30 mm
規則、規格、検査	EC規則 : 2014/30/EU

8 アクセサリとスペアパーツ

説明	製品番号
熱線式プローブヘッド (温湿度センサ搭載)	0635 1570
16 mmベーン式プローブヘッド (温度センサ搭載)	0635 9570
高精度100 mmベーン式プローブヘッド (温度センサ搭載)	0635 9370
100 mmベーン式プローブヘッド	0635 9430
高精度温湿度プローブヘッド	0636 9770
温湿度プローブヘッド	0636 9730
CO ₂ プローブヘッド (温湿度センサ搭載)	0632 1550
COプローブヘッド	0632 1270
testo 440 プローブヘッド接続用 Bluetooth®ハンドル	0554 1111
testo 440 風速計接続用ハンドルアダプター	0554 2160
快適性測定用スタンド (規格に準じたプローブ位置指定、収納袋付属)	0554 1590
90°アングル付き testo 440 風速計用伸縮式ロッド (0554 0960)	0554 0960
testo 440 風速計用伸縮式ロッド延長具 (長さ 0.40~0.85 m)	0554 0990
testo 440 ベーン式プローブ (Ø 100 mm) 用90°アングル	0554 0991
testo 440 (およびその他プローブ) 用コンビケース	0516 4401




9 各種認証


各国固有の製品認証に関する情報をご確認ください。



無線モジュールは、使用国の法令と規則に従い使用してください。使用を許可された国以外で本製品を使用することを禁じます。本製品の使用者および所有者は、必ず適用される規則と使用条件を守らなくてはなりません。また、無線の使用許可を得ていない国への転売、輸出、輸入などに伴い発生する責任は、すべて使用者および所有者が追うものとします。

Product	0554 1111
Mat.-No.:	0554 1111
Date	06.12.2017

Country	Comments
Australia	 E 1561
Canada	Product IC ID: 6127B-05541111 IC Warnings
Europa + EFTA	  The EU Declaration of Conformity can be found on the testo homepage www.testo.com under the product specific downloads. <hr/> EU countries: Belgium (BE), Bulgaria (BG), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Finland (FI), France (FR), Greece (GR), Ireland (IE), Italy (IT), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Sweden (SE), Slovakia (SK), Slovenia (SI), Spain (ES), Czech Republic (CZ), Hungary (HU), United Kingdom (GB), Republic of Cyprus (CY). EFTA countries: Iceland, Liechtenstein, Norway, Switzerland
Turkey	Authorized

Country	Comments																
Japan	 201-171021 Japan Information																
USA	Product FCC ID: WAF-05541111 FCC Warnings																
Bluetooth-Module	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Feature</th> <th>Values</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bluetooth range</td> <td>< 20 m (free field)</td> </tr> <tr> <td>Bluetooth type</td> <td>L Series BLE module (08 May 2013) based on TI CC254X chip</td> </tr> <tr> <td>Qualified Design ID</td> <td>B016552</td> </tr> <tr> <td>Bluetooth radio class</td> <td>Class 3</td> </tr> <tr> <td>Bluetooth company</td> <td>LSD Science & Technology Co., Ltd</td> </tr> <tr> <td>RF Band</td> <td>2402-2480MHz</td> </tr> <tr> <td>Output power</td> <td>0 dBm</td> </tr> </tbody> </table>	Feature	Values	Bluetooth range	< 20 m (free field)	Bluetooth type	L Series BLE module (08 May 2013) based on TI CC254X chip	Qualified Design ID	B016552	Bluetooth radio class	Class 3	Bluetooth company	LSD Science & Technology Co., Ltd	RF Band	2402-2480MHz	Output power	0 dBm
	Feature	Values															
	Bluetooth range	< 20 m (free field)															
	Bluetooth type	L Series BLE module (08 May 2013) based on TI CC254X chip															
	Qualified Design ID	B016552															
	Bluetooth radio class	Class 3															
	Bluetooth company	LSD Science & Technology Co., Ltd															
	RF Band	2402-2480MHz															
Output power	0 dBm																

IC Warnings

RSS-Gen & RSS-247 statement:

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s).

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause interference, and
- (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Caution: Radio Frequency Radiation Exposure

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the IC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment should be installed and operated keeping the radiator at least 20 cm or more away from person's body in normal use position.

Co-Location:

This transmitter must not be co-located or operated in conjunction with any other antenna or transmitter.

Attention : exposition au rayonnement de radiofréquences

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux radiofréquences IC fixées pour un environnement non contrôlé et aux Lignes directrices relatives à l'exposition aux radiofréquences (RF). Cet équipement devrait être installé et utilisé à une distance d'au moins 20 cm d'un radiateur ou à une distance plus grande du corps humain en position normale d'utilisation.

Co-location

Ce transmetteur ne peut pas être installé en colocation ou être utilisé avec une autre antenne ou transmetteur, quel qu'en soit le type.

FCC Warnings

Information from the FCC (Federal Communications Commission)

For your own safety

Shielded cables should be used for a composite interface. This is to ensure continued protection against radio frequency interference.

FCC warning statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution

Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment. Shielded interface cable must be used in order to comply with the emission limits.

Warning

This device complies with Part 15 of the FCC Rules.

Operation is subject to the following two conditions:

- (1) this device may not cause harmful interference, and
- (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Caution: Radio Frequency Radiation Exposure

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment and meets the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines. This equipment should be installed and operated keeping the radiator at least 20 cm or more away from person's body in normal use position.

Japan Information

当該機器には電波法に基づく、技術基準適合証明等を受けた特定無線設備を装着している。

